| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科目名 | 国際経済学 A　　International Economics A | | | | | | |
| 科目担当者 | 藏屋 滉平　　KURAYA Kohei | | | | | | |
| 単位数 | 2 | 配当年次 | 3 年 | 授業形態 | 講義 | 開講学期 | 前期 |
| 履修学部・学科［区分]<br>他学部他学科履修 | 経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］<br>他学部他学科履修〇 | | | | | ディプロマポリシーとの関連 | (1)(4) |
| 授業の概要 | 国際貿易とは、国境を越えた「財・サービス」の取引のことである。「国境を越える」というとマクロ的な枠組が頭に思い浮かぶが、国際貿易においては需要と供給の均衡などのミクロ的な枠組が応用される。<br>第 2 次世界大戦後、世界全体における国際的な貿易は急速に拡大した。本講義は、国際貿易はなぜ必要とされ、どのように拡大してきたのかなどの疑問に理論的な枠組を示すものである。<br>講義で扱う論点は繋がっているため欠席をせず受講してほしい。 | | | | | | |
| 授業の到達目標 | ①様々な貿易パターンについて理解する。<br>②貿易政策の役割について理解する。<br>③経済関連の報道を理解できるようになる。 | | | | | | |

| 授業計画・内容 | | |
|---|---|---|
| | 1 | 国際経済学とは |
| | 2 | 貿易理論 |
| | 3 | 貿易理論 |
| | 4 | リカード・モデルの設定 |
| | 5 | リカード・モデルの現実妥当性 |
| | 6 | ヘクシャー＝オリーン・モデル |
| | 7 | 経済成長と貿易 |
| | 8 | 新しい国際貿易 |
| | 9 | 新しい国際貿易 |
| | 10 | 空間経済学 |
| | 11 | 経済活動の集積 |
| | 12 | 貿易政策 |
| | 13 | 経済統合 |
| | 14 | 生産要素移動 |
| | 15 | まとめ |

| | |
|---|---|
| 授業外学修<br>(事前学修) | 事前に配布した資料に目を通し、次回学習する内容のイメージを持っておく。また疑問点は調べておくこと。（毎週 2 時間程度） |
| 授業外学修<br>(事後学修) | 毎時間、配布資料とは別に授業内容を整理したノートを作成することが望ましい。<br>質問を歓迎する。（毎週 2 時間程度） |

| 成績評価方法・評価比率・到達目標との対応 | 成績評価方法 | 評価比率 | 到達目標との対応 |
|---|---|---|---|
| | 定期試験 | 100% | ①②③ |

| | |
|---|---|
| 成績評価基準 | 秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合<br>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合<br>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合<br>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合<br>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合 |
| 教科書 | 資料を配布 |
| 参考文献 | |
| その他 | 公務員試験（上級行政職）の受験を考えている学生は受講を勧める。 |